

第1学年 国語科学習指導案

日 時 7月11日(土) 2校時
対 象 1年2組 27名
授業者 木村 友香

1 単元名 魅力を伝えよう！わたしのつぼみ自慢 「つぼみ」(光村図書)

2 校内研究との関わり

本単元は、児童が初めて出会う説明的な文章である。この単元では、「問い」に対する「答え」を読み取り、内容の大体をとらえることが中心になる。また、それぞれのつぼみの開き方について、時間的な順序で説明している。そのため、様々なつぼみの開き方に興味をもちながら読むことができる教材である。「問い」に対する「答え」という順序をいかした文章構成は、以降も発展的に繰り返し使われている。このことから、「問い」に注目して「答え」を予想しながら読み、分かったことや考えたことを自ら進んで表現できるようにしたい。

本時では、「自律に向かう学び」のうち、以下の段階を位置付ける。

- ① 教師の進行の中で自分の考えをもつ。
- ② 子どもが選択する場面が生まれる。
- ③ 児童と教師で調整する。

さらに、学んだことを自分なりの言葉で表現し、お互いの考え方を認め合うことを通して、

- ④ 認知・思考に関する多様性を生かした学びにつなげたい。

3 本時の授業

(1) 目標

写真と文章を対応させたり、説明の順序に気を付けて読んだりすることを通して、ききょうのつぼみについての内容を読み取り、感じたことや分かったことを伝え合うことができる。

(2) 展開 5/9

学習活動	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
1 学習課題を確認する。 ・紫色です。 ・ふくらんでいる。 ・星みたい。 ④ききょうのひみつってなんだろう。	・ききょうのつぼみの写真から、気づいたことを発表するように伝える。 □安心して発表できる雰囲気をつくり、多様な考えを認めながら学習を進める。[自律④]
2 文の順序を考え並べ替える。 ・つぼみの特徴、問い、答え、つぼみの開き方、花の特徴の5文の順序を考えながら並べる。 ・並べた文を発表する。	・つぼみの特徴、問い、答え、つぼみの開き方、花の特徴の5文をあさがおなどの文章と比べながら、根拠を説明させて並べ替える活動を通して、文の構成に気付けるようにする。 ☆前時までに学習した文を色分けして掲示するなど視覚的な視点でも読み取るための手立てになるようにする。 □前時の学習と比較したり、ヒントカードを使ったりと自分がやりやすい方法を選択してできるようにする。[自律⑤]
3 ききょうについて読み取ったことを共有する。 ・先の方から五つに分かれて開く。 ・途中からはつながったまま。	□文章の言葉やききょうが開花する動画を見ながら、学習したことを確認する。[自律④⑤]

4 学習のまとめをする。

- ・わたしは、途中はつながったまま五つに分かれてきれいな花を咲かせる。
- ・わたしのつぼみは、紫色で風船のような形。

ききょうは、とちゅうがつながった、い
つつにわかれたはなをさかせる。

5 学習を振り返る。

6 次時の学習について知る。

- ・ききょうの妖精になりきり、花自慢という話し方をすることで、学んだことを自分なりの言葉で表現し、理解を深められるようにする。
- ・あさがおやはすとの違いにも着目できるようにする。

□友達の表現の違いを認め合い、多様な考えのよさに気付けるようにする。[多様性②]

- ・ききょうのどの特徴に着目して花自慢をしたのかに着目させながらそれぞれの表現のよさに気付くようにさせる。

◎ききょうの特徴を読み取り、表現することができる。

【思考・判断・表現】

学習活動の発言・ワークシート

- ・子どもたちの発言をもって、まとめとする。

- ・分かったことや感想などを聞く。

- ・次時は学校図書館での図鑑で調べる活動につなげていくことを知らせる。